



第86号
平成20年1月

子育て施設課
電話 0823-25-3144

アレルギーシリーズ2

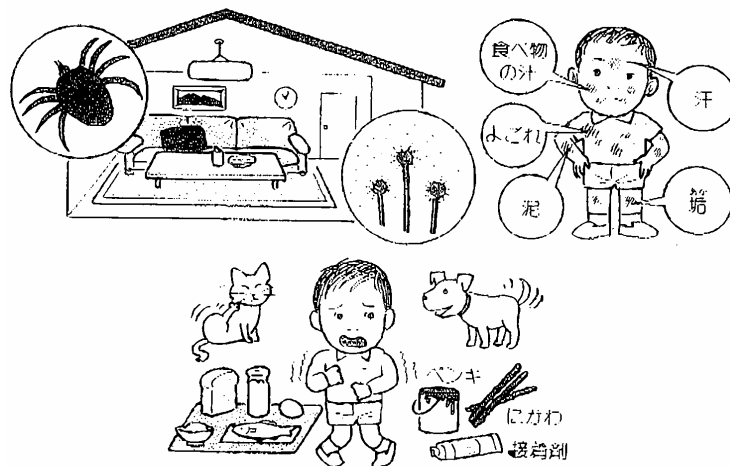
【 アトピー性皮膚炎 】

アトピー性皮膚炎とは、“悪くなったり、良くなったりを繰り返すかゆみのある湿疹を主病変とする疾患で、患者の多くはアトピー素因（本人の血液検査や家族歴）をもつ”皮膚炎をいいます。



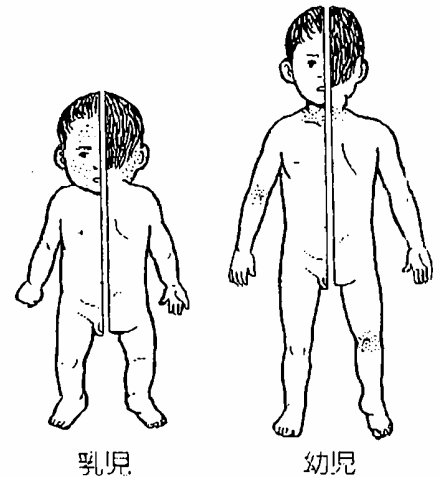
原因は

1. アトピーになりやすいアレルギー体質があげられます。さらにその人の皮膚が弱かったり、過敏だったりします。そこに気候の変化や体調の悪化などが加わると発症しやすくなります。
 2. 原因になるアレルゲン（アレルギーの原因となる抗原物質）の多くは、ダニをはじめとした室内のほこりや花粉です。卵、ミルク、大豆などの食物が原因になることもあります。
 3. 身体や手足、特に手足に乾燥肌（ドライスキン）があり、幼児・学童期に目だってきます。特に、乾燥肌は予知徴候として重要な因子です。
 4. 両親などにアトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎などのアトピー性疾患があり、血清IgE（採血して抗体の数値）が健康な人に比べて高いことなどの条件を満たしている場合も考えられます。
- 以上のように数多くの素因が関係しています。



特徴は

1. かゆみを伴った急性慢性の湿疹が左右対称性に現れます。
2. よく見られる場所は、前額、眼や口、耳の周囲、首、手足の関節部や背中、お腹、わき腹などです。
3. 乳幼児では2か月以上、そのほかでは6か月以上続く繰り返す湿疹（新しい湿疹と古い湿疹が混在する）です。
4. 乳児期は顔や頭から始まり、しばしば身体や手足に広がってゆきます。



日常生活での注意事項

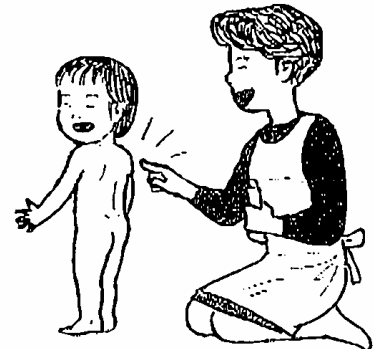
☆ 入浴

1. 入浴は皮膚の清潔と加湿が目的のため、基本的に毎日入浴しましょう。頻回すぎる入浴は逆効果です。
2. 湯はかゆみを起こさないように少しぬるめの温度にしましょう。
3. 石けんを用いる時は、香料や刺激性の少ない物をよく泡立ててから使しましょう。
4. 石けんは十分に洗い流しましょう。
5. 入浴後はスキンケアが重要です。



※スキンケアに際して

1. 皮膚の清潔と保湿は、アトピー性皮膚炎治療の基本です。
2. 保湿剤は皮膚にあったものを選択し一日に何回も塗布することが大切です。



☆ 爪をきれいに

かゆくて引っかくことは、湿疹を悪化させる原因です。爪は短くしましょう。

☆ 環境整備には手を抜かないように。

軟こう治療をするときの基本

1. ステロイド軟こうは、副作用もあるので、使い方によっては、危険です。症状や経過にあわせた薬剤選択が重要です。
2. ステロイド軟こうの使用方法を医師によく聞き正しく理解しましょう。

気になったら早目に主治医に相談しましょう。